

【基礎助産学】

科目名	ウィメンズヘルス論	講師名	① 非常勤講師 A (4)	学 年	1	履 修 期	第1学期				
単 位	1 単位		② 非常勤講師 B (4)								
時間数	30 時間		③ 岡山医療センター医師 A (2)								
			④ 非常勤講師 C (2)								
			⑤ 岡山医療センター医師 B (2)								
			⑥ 岡山医療センター管理栄養士 (6)								
			⑦ 教育主事 (10)								
講師実務経験	講師⑦助産師としての実務経験あり										
授業概要	女性のライフサイクル各期の身体的・心理的・社会的な特徴と変化を理解し、性と生殖に関連した健康を支援する能力を養う。										
授業科目目標	1. 性行動と発達、多様な性のあり方について理解できる。 2. 女性のライフサイクル各期における健康問題とそのケアについて理解できる。										
授業内容	<p>講師① 4 時間</p> <p>第1回 1. 性と性行動、性の多様性 1) 性の多様性と現状 2) ジェンダークリニックにおける診療の実際</p> <p>第2回 3) LGBTQ に関する各種活動について</p> <p>講師② 4 時間</p> <p>第3~4回 2. プレコンセプションケア 1) 不妊症の問題と支援</p> <p>講師③ 2 時間</p> <p>第5回 2) 男性不妊と生殖補助医療</p> <p>講師④ 2 時間</p> <p>第6回 3) 母子の歯科保健</p> <p>講師⑤ 2 時間</p> <p>第7回 4) 母子と放射線</p> <p>講師⑥ 6 時間</p> <p>第8~10回 5) 食生活と女性の健康</p> <p>講師⑦ 10 時間 (試験 1H 含む)</p> <p>第11回 3. 女性のライフサイクル各期における健康課題とケア 1) 思春期 3H</p> <p>第12回 2) 成熟期</p> <p>第13回 3) 更年期・老年期</p> <p>第14回 4. 家族計画と受胎調節</p> <p>終了試験 1H</p>					講義	講義	講義	講義	講義	講義
評価方法	筆記試験 講師① 10 点 講師② 10 点 講師③ 5 点 講師④ 5 点 講師⑤ 5 点 講師⑥ 10 点 講師⑦ 55 点										
テキスト	助産学講座 1 基礎助産学 母子の基礎科学 医学書院 助産学講座 5 助産診断・技術学 I 医学書院										
参考書	授業中に適宜提示する										
学生へのメッセージ	セクシュアリティ、女性のライフステージ各期における性と生殖に関する健康課題とケアについて知識を深めてください。										

【基礎助産学】